

一般質問



松澤 利行 議員(自民)

防災まちづくりについて

①戸越公園の隣地の国文学研究資料館跡地について、整備方針がどのようにまとまっているのか。②小中学校の改築について、なぜ古い学校からではないのか。③戸越小学校の改築に際しては、跡地北側に学校を移転して建築するべきだと考えるがいかがか。④宮前小学校が戸越小学校と一体となって跡地北側の新設学校に移転し、その宮前小学校の跡地に新しい戸越体育館を移転しては。⑤防災生活圏促進事業等に戸越6丁目地区が入っていない。補助29号線の計画路線が通っているが、



子ども参加型公園づくり発表会

今後の見解を。⑥第三次長期基本計画の中に西品川2・3丁目地区が平成13年から居住環境整備と書かれ、10年近くも手がつかないまま。密集住宅市街地整備促進事業の適用がされないのはなぜか。

まちづくり事業部長 ①現在の戸越公園と一体性を持った公園とするともに、災害時の広域避難場所としての機能を拡充することを基本としている。⑤防災生活圏の範囲に戸越6丁目を入れることは難しい。補助29号線の計画路線が将来的に事業化されたときは、戸越6丁目を含む沿道の都市防災不燃化促進事業などの導入が必要になると認識している。⑥東京都建築安全条例に基づく新防火制度の対象区域に指定し一定の防火規制をかけるなど行っている。こうした規制等によるまちの状況の変化を見きわめつつ、適切な時期に事業の導入を検討する。

教育次長 ②校舎全体の老朽が、あいを総合的に判断するなどだ。③仮に将来、改築工事を行うとした場合は、メリットのある方策の一つと考える。④戸越公園一帯の整備計画と大きくかわりがあるの、関係部署間の連携を密に

して検討を進める。補助29号線について ①大崎警察署わき環状6号線交差点から大田区南馬込6丁目までの計画道路である補助29号線の、延焼遮断帯としての必要性を論じる時期に来ている。区として防災上の見地から区民に投げかける必要があるのでは。 区長 ①交通網の一環だけでなく防災上重要なが、道路整備の予定が立たない状況だ。密集市街地の整備にあわせ、防災まちづくりの観点から整備を推進する必要がある。引き続き、より多くの方々にその必要性について説明する。

まちづくり事業部長 ①地元足立区が国や都、鉄道事業者と検討会を発足させ鉄道立体化が最速との確認をしたなどだ。今後、都市計画手続を行うなどと聞いている。②特別目的会社が事業費の一部を立てかえた上で連続立体交差事業を施行するSPC型立替制度のメリット等を研究する必要がある、戸越公園駅をモ

デルに検討会が組織される場合は区としても参加する。地域センターと町会とのかわりに ①ある町会長から「日ごろから隣の連合町会との関係が深い。できることならば町会の総意として、隣の地域センター管内の連合町会に移りた

い」との陳情を受けた。おのの連合町会の理解や地域住民の総意があれば、町会の移動は可能だと思いが所見は。 区民生活事業部長 ①町会が所属する町会連合会に關して変更の動きがあった場合は、区政や地域の諸活動への影響を勘案し、区としても関係する町会や町会連合会と協議していく必要があると考える。

「ネット555」対策 ①学校非公式サイト、いわゆる「学校裏サイト」を用いてのいじめが全国的に問題となっている。品川区内の学校裏サイトの把握しているのか。②学校裏サイトなどの検索やアンケート等での調査を行っているのか。③ネットいじめに対して、どのような対策を行っているのか。④教師等に対しての対策は。⑤スクールソーシャルワーカーの活用には、第三者機関、相談窓口を設立し、調査・対策を行う必要があるのでは。 教育次長 ①過去2件を発

見したが、すぐに削除されており現在把握しているサイトはない。②インターネット検索などで情報収集に努めてい

る。③学校では児童・生徒に対して定期的にいじめに関するアンケートを行い、把握した場合には聞き取り、相手への指導など迅速に対応している。④学校には文部科学省作成の対応マニュアルなどを配布し、日常の指導に活用するよう示している。⑤現在の取り組みの充実を図ることにより対応する。⑥指導内容の一層の充実を図っていく必要があると考える。⑦都教育委員会において学校裏サイトの監視など被害やトラブルを防ぐ対策を検討しており、取り組みの動向を注視し状況に応じ適切に対応する。



石田 慎吾 議員(民主)

防災について ①災害に強い品川をめざす区として消防団との連携は重要だ。消防団の訓練場を確保するための情報提供など積極的に協力、取り組みを。②ト

ランシーバーなどの消防団への装備品に対して、現場の声が反映されるために意見交換を行うことへの所見は。③今後の中学校へのミニポンプの配置計画は。大崎中学校のように地域と学校の連携を行うと連携をとり、防災等の知識・経験の向上をさせては。⑤住宅への火災警報器設置に対して、周知方法などの取り組みは。 区民生活事業部長 ①情報提供等を含め、可能な限り協力の安全確保を目的としていることから、側面から支援させていたであり、各消防団に希望の品をお配りしている。③毎年4校ずつを予定している。各学校においても、消防団や地域との連携を図っていく。④機会をとらえて地域の消防団や地域との連携に努めている。⑤区独自で広報紙に掲載するとともにパンフレット等で紹介している。今後も消防署との連携をさらに強化し、普及啓発に努める。



東品川公園の桜

国際交流について ①基本構想を貫く3つの理

念の1つに「暮らしが息づく国際都市、品川区をつくる」が掲げられている。国際交流のあり方について、どのような考えや方向性を持っているのか。②1つの姉妹都市、2つの友好都市との交流を積極的に進めるため、企業交流のシステムの構築を。海外進出推進事業を行っている。①職員との交流を行っている。③区民の芸術作品を姉妹都市や友好都市などで展示をしたり、交流先の市民の芸術作品を区内で展示するなどしては。

区長 ①長期基本計画では、アジアの都市と区とがともに活力を高め合えるような交流を進めていく方向を示した。あわせて外国人にとっても住みやすい環境整備などを掲げた。②アジュネーヴ市商工会議所関係者を受け入れた実績がある。この分野ではアジア諸国との都市間交流の研究を進める。⑦研修や随行で区から職員派遣を行っている。ポルトランド市、オークランド市からは平成20年度も区立中学校へ1か月程度教員9人を受け入れているなどだ。③ポ

ルトランド市との姉妹校交流における絵画等の相互展示などを行っている適宜実施する。